

ステント血栓症発症後の長期予後に関する検討

1. 研究の対象

2008年1月から2017年12月までに、ステント血栓症を発症し、緊急カテーテル検査を実施した患者さんが対象です。ステント血栓症は、ステント留置後に急性冠症候群の所見（急性の虚血症状、虚血性心電図変化、心筋逸脱酵素の上昇のいずれか）があり、血管造影で血栓又は閉塞が確認された症例としています。

2. 研究目的・方法

この研究は、診療録(カルテ)の調査により情報を収集する後ろ向き研究です。

目的：冠動脈狭窄または閉塞病変に対してステント留置を行った後に、ステント血栓症を発症した患者さんの長期予後を後ろ向きに検討することが目的です。

方法：対象患者さんの臨床情報を集積して検討します。

研究期間：承認日から2022年3月31日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

患者情報：患者背景、併存疾患、初回PCI情報、定量的冠動脈造影所見、服薬状況、CAG情報、PCI情報、血管内イメージング情報、採血データ、予後情報など

4. 外部への試料・情報の提供

『研究の対象』で記載した患者さんの診療情報を電子カルテから取得し、取得した臨床情報を大阪大学大学院医学系研究科 循環器内科学及び大阪大学医学部附属病院医療情報部へ転送(郵送)をいたします。研究に利用する情報には個人情報が含まれますが、院外に提出する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。また、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける対応表を当院の研究責任者が作成し、情報提供の拒否の申し出があった場合や、診療情報との照合などの目的に使用します。対応表は、研究責任者が責任をもって適切に管理し、院外へ持ち出すことはありません。情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

5. 研究組織

【研究代表者】

坂田 泰史

大阪大学大学院医学系研究科 循環器内科学 教授

大阪府吹田市山田丘 2-2, E-2

TEL: 06-6879-3630

【研究事務局・画像解析】

大阪大学大学院医学系研究科 循環器内科学

〒565 0871 大阪府吹田市山田丘 2 番 2 号 電話 06-6879-3298

【データセンター】

大阪大学医学部附属病院医療情報部

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2 番 15 号 電話 06-6879-5900

【研究協力機関】

関西ろうさい病院 循環器内科医員	石原 隆行
国立病院機構大阪医療センター 循環器内科医員	篠内 和也
大阪警察病院 循環器内科部長	樋口 義治
大阪急性期・総合医療センター 心臓内科部長	森田 孝
大阪労災病院 循環器内科心血管科部長	習田 龍
西宮市立中央病院 心臓血管センター長兼循環器内科部長	野嶋 祐兵
市立豊中病院 循環器内科部長	熊田 全裕
市立東大阪医療センター 循環器内科副部長	高木 崇
箕面市立病院 循環器内科部長	北尾 隆
桜橋渡辺病院 医長	永井 宏幸

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

当院の研究責任者：八尾市立病院 循環器内科部長 橋 公一

〒581-0069 大阪府八尾市龍華町一丁目 3 番 1 号

TEL：072-922-0881, FAX：072-924-4820

研究代表者：大阪大学大学院医学系研究科 循環器内科学 教授 坂田 泰史

〒565-0871 吹田市山田丘 2-2

TEL：06-6879-3630